

井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。
17ページに掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

読者の伝言板

30歳を過ぎたころから、身体の変化に「おや？」と思うことが多くなりました。広報6月20日号に健診の案内があり、受けてみようかな〜と思案中です。丈夫なだけがとりえだったんですが…(おてんきママさん 33歳・桜方丘)

庭の隅にトマトの苗を植え、順調に育って実がテニスボールほどになり喜んでいました。ある日、落ちて転がっていました。カラスの仕業でした。つついてみたが、青いトマトはさすがにまじりませんでした。カラスは雑食と聞いていますが、飽食の時代なのでもしかして…と考えてしまいました(相庭けいさん 79歳・牛島)

今年、ついに念願の竿燈まつりに参加できることになりました！今から楽しみでです(たけさん 25歳・広面)

梅雨入りすると太陽が恋しいです。雨も必要だけど太陽もほしい。バランスのとれた自然にするためにも、広報あきた6月20日号「できることから始めよう」を参考に

んなで、え〜子(エゴ)！(クロネコナナさん 52歳・河辺)

今の世の中、昔と変わりました。私は大正生まれですが、今の暑さ、寒さに対する生活の便利さがもつたいないように思います(伊藤ヲキイさん 82歳・金足)

家族が入院してしまいました。一人欠けても寂しいものです。早く良くなって退院してほしいです。ほんとに健康って大事ですよね(りょうさん 33歳・飯島)

自宅で1歳の娘を育てています。以前は外に出ることも少なく、他人との交流がほとんどなかったのですが、最近娘も歩けるようになって行動範囲が広がり、同じ年ごろの子ともさんと遊ぶ機会ができました。私にとっても良い刺激で、ママ友さんと話してストレス発散しています。出会いは作ってくれた娘に感謝しています(タノハツチさん 27歳・広面)

最近、歴史ドラマにハマっている母と私。昔の人のために、なぜか感情移入できてしま

地域の話 おしえて!!

新屋比内町に手作りのごみ集積所が完成 みんなの力でごみ問題を解決!

新屋比内町にある、青く塗られたごみ集積所。利用する同町内会第8・第13班のみなさんの手作りによるものです。

以前の集積所は小さく、乱雑に投げ込まれたごみ袋がカラスに荒らされ、周囲の掃除が大変でした。建て替えは多額の費用がかかることから話が進まず、地域の問題になっていました。

昨年、町内のブロック長になった金澤國太郎さんは、趣味の日曜大工を生かし、集積所を自分たちで作ることを決心。今年4月に班員に呼びかけて準備を進め、6月14日、無事完成にこぎ着けました。「先日の収集日、新しい集積所にごみ袋がきれいに並べて置かれているのに驚いた」と金澤さん。地域一丸となった問題解決への取り組みは、予想以上の大きな効果があったようです。

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりのニュースがありましたら、広報課までお知らせください。

tel(866)2034・ファクス(866)2287



班員など12人が集まって、一気に仕上げました



おしゃべりかわらばん

みんなが主役！ ヤートセ秋田祭



ハレルヤヒバリの熊谷一誠くん(築山小4年)

みんなでダンス！

ヤートセに出るのは今回で4回目。一生懸命かけ声を出して踊ったよ。お母さんと妹、学童保育「ひばりクラブ」の友だちと一緒に楽しかったから、とっても楽しかったな。

みんなで盛り上がりよう！

ヨサコイは、いろんな年齢層の人が、みんなで一つのものを作り出していくのが魅力ですね。これからもいい演舞ができるようがんばります。紅翔蘭舞會ではメンバーも募集中。一緒に盛り上がりよう！



紅翔蘭舞會の柏谷竜彦さん(雄和)

月に2度のお楽しみ

このサークルに通うようになって1年ちょっと。月2回、ほぼ毎回来ています。陽太は乗り物おもちゃが大好きで、友だちと競争してはしゃいでいます。私もママ友だちと子育ての話をして、楽しく過ごしています。



明德地区の子育てサークル「このゆびとまれ」に参加した安藤英理さん、陽太くん

大切にします

ガラス工芸は初体験。工程すべてがたいへんで、特にデザインはとても悩みました。苦労して完成したペンダントトップの絵柄は、「四つ葉のクローバー」。小さな幸せを運んでくれそうなのが、気に入っています。



河辺公民館の女性講座で、ガラスのペンダントを作った門脇良子さん(河辺)

弓道は初体験です

これまでいろいろなスポーツをやってきましたが、「道」がつくものは初めての経験。背筋を伸ばし、体のバランスをとるのがたいへんですね。礼儀作法を身に付けることができるので、習って良かったと思っています。



一つ森公園の弓道場で開かれた弓道教室に参加した佐藤公男さん(保戸野)



今年で第11回となった「ヤートセ秋田祭」。県内外から集まった58チームのパワフルな演舞が、まちを熱い活気で包みました。

まず(つつけ者さん 15歳・御野場) スグツチ石像の手を石材加工組合のかたが元通りにしてくれて良かったですね。そういえば、河辺でも数年前に同じようなことがありました。河辺は「ベその町」ということで、へそ公園にシンボルとして黒御影石で造った「へそのゴマ」がありました。心ない人がそれを持ち去ってしまいました。その時も、ある石材屋さんが石を寄贈してくれました。石材関係のかたに、またまた感謝です(うるるマさん 42歳・河辺)

係からひとこと 市の広報番組をご覧いただき、ありがとうございます。私たちテレビ制作担当者は、視聴率で一喜一憂しているのですが、制作意欲のバロメーターとも言えるこの視聴率が、このところものすごく好調なんです。水曜日の夜の「こんばんは秋田市」から6月11日放送分の平均視聴率は15.8%。市政の話題を中心に伝える広報番組でこの視聴率は驚異的！と、みなさんが思ってくれたらうれしいのですが。 広報クイズの応募に添えられる読者の一言に、広報番組に對するご意見もお待ちしております。(裕介)



環境活動を表彰

6月4日、秋田市環境活動推進協議会は、積極的に環境活動に取り組んでいる下記の団体を表彰しました。

- 集団回収部門 鼠田町内子供会、四ツ小屋野球スポーツ少年団
- ボランティア清掃部門 將軍野地区環境活動推進協議会、秋田港をキレイにする会



まちを花いっぱい

市では、今年度創設した「緑のまちづくり活動支援基金」を活用し、緑化活動を行っている町内会など158件へ助成しました。茶町菊ノ丁町内会では、7月1日にフラワーポットを設置。会長の寺島好太郎さんは「町内会で協力してきれいなまちにしたい」と話してくれました。